

## 中国（上海）ビジネスサポート

### Monthly China News

\*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

#### 【政治・経済】

- **習近平国家主席が AIPPI 国際総会に祝賀メッセージ：** 19日、浙江省杭州市で国際知的財産権保護協会（AIPPI）国際総会 2024 が開催された。習近平国家主席は「中国は常に知的財産権の保護を非常に重視し、知的財産権強国の建設を深く推進し、知的財産権事業が歴史的成果を収める後押しをしており、中国の特色ある知的財産権発展の道を歩み出している。中国は各方面と共に、引き続き協力を強化し、国際知的財産権の多国間体制を断固として守り、革新的な発展に資する国際環境の構築に中国の知恵と案を提供し、世界知的財産権ガバナンス体制のより公正で合理的な方向への発展を後押しし、人類の幸福の増進に貢献することを望んでいる」と強調した。（10/19 新華社、10/21 人民網）
- **2024 年世界インターネット大会烏鎮サミット、11 月に開催：** 2024 年世界インターネット大会烏鎮サミットが 11 月 19-22 日に浙江省烏鎮で開催される。世界インターネット大会は 24 日、北京市で記者会見を開き、関連情報を発表した。世界インターネット大会の任賢良事務局長は、「今年のサミットのテーマは『人間中心・社会的利益のためのスマートのデジタル未来を受け入れよう——手を携えサイバー空間の運命共同体を構築』。人工知能（AI）技術、産業発展及びその経済・社会への影響に焦点を当てる。サミットの開催期間中には、世界のインターネット関連分野で優れた貢献を成し遂げた個人・企業を表彰するための「世界インターネット大会傑出貢献賞」を設立する。世界インターネット大会 AI 専門委員会を設立し、AI 国際交流・協力のプラットフォームを構築する。世界インターネット大会シンクタンク協力計画を開始し、インターネット関連問題の研究、交流、協力を推進する。世界インターネット大会デジタル研修院を設立し、世界、特に発展途上国の政府当局、民間組織、企業管理層のためのグローバルな研修のプラットフォームを構築する」と説明した。（10/24 人民日報、10/25 人民網）
- **「グレーターBRICS 協力」の質の高い発展という新局面を切り開く：** 習近平国家主席は 23 日午前、ロシア・カザンで開催された BRICS 第 16 回首脳会議に出席し、重要演説を行った。習主席は BRICS の発展における大局的、方向的、戦略的問題に着眼し、「平和の BRICS」「イノベーションの BRICS」「環境に配慮する BRICS」「公正な BRICS」「人と文化の BRICS」の構築を提言し、BRICS が集団として新たに出発し、「グレーターBRICS 協力」の質の高い発展という新局面を切り開く後押しをするための方向性を示した。（10/25 人民日報、人民網）
- **有人宇宙船「神舟 19 号」が打ち上げに成功、86 件の宇宙科学研究・技術試験を実施へ：** 有人宇宙船「神舟 19 号」を搭載したキャリアロケット「長征 2 号 F 遥 19」が同日未明 4 時 27 分、酒泉衛星発射センターで点火され、打ち上げられた。約 10 分後、神舟 19 号がロケットから切り離され、予定の軌道に入った。乗組員のコンディションが良好で、打ち上げミッションが無事成功した。前日開催された有人宇宙船「神舟 19 号」有人飛行ミッション記者会見で、スポークスマンは「神舟 19 号の乗組員は飛行期間中、計画の『宇宙探査』というテーマを中心に、宇宙生命科学、微小重力基礎物理、宇宙材料科学、宇宙医学、宇宙新技術などの分野を網羅し、微小重力条件下で成長するタンパク質結晶の構造解析やソフトマターの非平衡ダイナミクスなど 86 件の宇宙科学研究・技術試験を実施する。基礎

理論先端研究、新素材生成、宇宙放射線と無重力による生理効果のメカニズム、低磁場の生物効果、分子メカニズムなど複数の科学的成果を上げる見込みだ」と説明した。(10/29、10/30 人民網)

## 【製造業関連・関連の政策等】

- **補助金申請 127 万件超 自動車の買い換えで 1,000 億元クラスの消費支出が加速**：商務部（省）がまとめた最新のデータによると、今年 9 月の第 1-3 週には、全国の乗用車販売台数が前年同期比 10%増の 124 万 3,000 台になり、8 月同期より 10%増加した。そのうち新エネルギー乗用車の販売台数は前年同期比 47%増、8 月同期より 7%増の 66 万 4,000 台だった。今年に入ってから、消費財の買い換えが大いに推進されており、その中で自動車の買い換えが重要な部分となっている。大規模な補助金を実質的な恩恵をもたらし、人々を「車が欲しい」という気持ちにさせ、複数の自動車メーカーが相次いで売り上げ記録を更新した。データを見ると、10 月 8 日午前 0 時現在、同部の自動車買い換えプラットフォームが受理した補助金申請は 127 万件を超え、補助金は 1,600 億元（1 元は約 21.4 円）を超える新車の売り上げをもたらした。そのうち新エネ車の補助金申請が 60%を超えた。1-8 月の全国廃車回収台数は前年同期比で 42.4%増加し、特に自動車買い換え政策の実施後、5 月の同成長率は 55.6%増に達し、6 月は 72.9%増、7 月は 93.7%増、8 月は 73.8%増となった。(10/24 人民網)
- **中国 1-9 月の一定規模以上工業企業の利益が 5 兆元超に**：国家統計局が 27 日に発表したデータによると、今年 1-9 月には、全国の一定規模以上の工業企業（年売上高 2,000 万元以上の企業）の利益総額（税引前当期純利益）が前年同期比 3.5%減の 5 兆 2,281 億 6,000 万元（1 元は約 21.5 円）になった。同局工業統計司（局）の于衛寧スタティスシャンは、「複数の要因の影響を受けて、1-9 月の一定規模以上の工業企業の利益は前年同期に比べて減少したが、利益総額は 5 兆元を超え、特にハイテク製造業をはじめとする新たな原動力を備えた産業の利益が急増していることから、工業経済の発展の強靱さがうかがえる」との見方を示した。(10/28 人民網)
- **中国 10 月の製造業 PMI は 50.1% 2 ヶ月連続の景気拡大局面**：国家統計局サービス業調査センターと中国物流・調達連合会が 10 月 31 日に発表したデータによると、今年 10 月の中国の製造業購買担当者景気指数（PMI）は前月比 0.3 ポイント（p）上昇の 50.1%となり、2 ヶ月連続で上昇して景気拡大局面が続いた。そのうち大規模企業の PMI は同 0.9p 上昇の 51.5%、中規模企業の PMI は同 0.2p 上昇の 49.4%だった。(11/1 人民網)
- **外資系企業の 5 割近く「中国市場の魅力が上昇」**：中国国際貿易促進委員会が 10 月 31 日に発表した調査研究報告書「2024 年第 3 四半期（7-9 月）中国外資系企業のビジネス環境調査研究報告書」によると、今年第 3 四半期には調査に回答した外資系企業の 9 割が中国のビジネス環境に対して「満足」以上の評価をし、5 割近くが「中国市場の魅力が上昇している」との見方を示した。同報告書により、調査に回答した外資系企業は対中投資意欲が高まった。うち欧州企業は投資増加の意欲が高かった。外資系企業が増資を希望するエリアは主に東部地域で、59.52%を占めた。主な投資増加の方法は中国で製造ラインを拡大するまたはデジタルトランスフォーメーション（DX）を実現するなどで、半数以上を占めた。(11/1 人民網)

## 【トピックス】

- 1、**ファーウェイ、中国初の完全独自開発 OS「HarmonyOS NEXT」発表**：中国初の国産モバイルオペレーションシステム（OS）となる、華為（ファーウェイ）技術有限公司オリジナルの「HarmonyOS

NEXT」が、22日に正式に発表された。これはアップル「iOS」とアンドロイドOSに続く、世界第3のモバイルOSでもある。これまでに発表された「HarmonyOS」は、システムのベースにアンドロイドOSのAOSP（アンドロイドオープンソースプロジェクト）で公開されたオープンソースが使用されていたため、アンドロイドの一部のアプリケーションとの互換性を持たざるを得なかった。今回発表された「HarmonyOS NEXT」は、システムのベースがすべて独自開発されたものとなり、流暢性、性能、セキュリティ機能などが著しく向上したとともに、中国の国産OSの独自化も実現した。（10/23 人民網）

**2、海南省三亜市と日本の国際線が再開：**10月27日午前8時19分、吉祥航空のH01611便が海南省の三亜鳳凰国際空港を飛び立ち、南京市を經由して日本の大阪に向かった。同空港の関係者によると、これは「三亜-南京-大阪」路線の再開を示しており、三亜市の出入国検査所が再開してから最初に就航した日本への国際線だ。「三亜-南京-大阪」路線の機体はエアバス321NEOを使用し、1日1便が運航する。往路便は便名がH01611で、8:00に三亜市を出発し、15:55に大阪に到着する。復路便はH01612で17:25に大阪を出発し、翌日の00:15に三亜市に到着する（以上の時間はそれぞれ現地時間）。（10/28 人民網）

**3、新疆且末の砂漠で真珠の養殖に成功：**新疆維吾爾（ウイグル）自治区・タクラマカン砂漠に位置する且末（チャルチャン）県時時鮮水産有限公司の魚介類養殖拠点には、日光が注ぎ、水面がキラキラと光る水産養殖池があり、中を覗くと、魚の群れがゆったりと泳いでいた。同社の龔永洪董事長は、「この養殖池には海の魚だけでなく、底には真珠も隠れている」と胸を張り、「味に優れた海の魚を含む水産品のほか、目玉となる魚介類の派生商品である『砂漠の真珠』も養殖している」と説明する。（10/29 新疆日報、人民網）

**4、中国の自動車メーカーが初めてタイでBEVピックアップトラックを発売：**中国の自動車メーカーの吉利持株集団傘下の新エネルギー電気ピックアップトラックブランド「雷達」は29日、タイ・バンコクで製品発売発表会を開催した。これは中国産バッテリー電気自動車（BEV）ピックアップトラック初のタイ市場進出であると同時に、タイ市場初のBEVピックアップトラックでもある。（10/31 人民網）

### 【1-9月の経済情勢に関するデータを発表 中国】

中国はこのほど、関連データを発表し、2024年1-9月の経済情勢に関して報告した。（10/31 人民網）

・**消費市場の運営状況：**今年第1-3四半期（1-9月）の社会消費財小売総額は同3.3%増の35兆3,600億元に達した。9月には、消費財の買い換え政策の効果が絶えず顕在化し、消費市場は回復・好転する勢いを示した。同月の社会消費財小売総額は前年同期比3.2%増の4兆1,100億元に上り、成長率は8月を1.1ポイント上回った。

・**対外貿易の状況：**1-9月の物品貿易の輸出入総額は同期として初めて32兆元を突破して32兆3,300億元に達し、前年同期比で5.3%増加した。そのうち輸出は6.2%増の18兆6,200億元、輸入は4.1%増の13兆7,100億元だった。四半期別に見ると、第1四半期（1-3月）は10兆1,500億元、第2四半期（4-6月）は11兆元、第3四半期（7-9月）は11兆1,700億元で、3期ともに10兆元を超えたのも同期で史上初のことだ。

・**外資導入の状況：**1-9月に、全国で新たに設立された外資系企業は前年同期比11.4%増の4万2,108

社に上り、実行ベース（以下同）外資導入額は 6,406 億元に達した。外資導入額を産業別に見ると、製造業が 1,792 億 4,000 万元、サービス業が 4,461 億 3,000 万元だった。ハイテク製造業が 771 億 2,000 万元で、外資導入額に占める割合は前年同期比 1.5 ポイント増の 12%だった。医療機器設備・機器製造業は同 57.3%増、専用技術サービス業は同 35.3%増、コンピューター・オフィス設備製造業は同 29.2%増だった。投資元国別に見ると、ドイツからの対中投資が同 19.3%増、シンガポールからの投資は同 11.6%増（自由港を経由した投資のデータ）だった。

### 【イベント】

【出展募集中】FBC 広州 2025in GIT 工業展 & Asiamold 金型展 2025 年 2 月 25-27 日 広州中国輸出入商品交易会展示館

【出展募集中】FBC 深セン 2025 in ITES 工業展 2025 年 3 月 26-29 日 深セン国際会展中心

\*（公財）大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート  
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室